

はちまんたい議会だより

ギカイのひろは

No. **39**
2015年(平成27年)
5月14日



頂点目指し 稽古に精進

— 平舘高校相撲部 —

CONTENTS

- 27年度予算…………… P 2
- 3月定例会…………… P 4
- 会派代表質問(5会派)…… P 7
- 一般質問(10人)…………… P 12

討 論 (3月20日本会議)

■一般会計

反対 米田定男議員(日本共産党)

人口減少問題に正確に向き合うことが重要である中、地域の実態から見れば施設の集約は必要性がないにもかかわらず、限られた地域に数十億円もの巨額な投資をする大更駅周辺のにぎわい創出事業は一極集中政策であり、否定されるべきものであることから反対する。

賛成 渡辺義光議員(新政クラブ)

総合計画の最終年度とともに、合併10周年の節目の年である27年度予算は、次の10年を展望したまちづくりの決意を示した積極的予算と評価する。市の将来像「**農と輝の大地**」みのり ひかり実現と、市民の心の豊かさを実感できる事業展開で市勢発展を期待し賛成する。

■国民健康保険特別会計(事業勘定)

反対 高橋悦郎議員(日本共産党)

26年度決算で、3億1千万円の剰余金が予想され、八幡平市の適切な国保基金積立金より約1億6千万円多くなると思われる。差額を使い、国保税を引き下げるべきであるにもかかわらず、検討されないことから反対する。

A 特産品開発など6次産業化への支援や花き振興、林業振興、観光協会の支援でそれぞれ1人ずつ増員したい。

Q 西根総合支所の年間の維持管理費用と、今後の庁舎の利活用はどうなっているか。

A 維持管理費用は、年間約2450万円となっている。今後の庁舎の利活用は現在、経済団体に照会し内部で検討中である。

Q 27年度は地域おこし協力隊を4人増員して9人任用となるが、どの分野で拡充するのか。

予算特別委員会での主な質疑

A 見学会後の説明会については、庁内でさらに必要があるか検討したい。

Q 現在稼働中の産廃施設「いわてフリンセンター」への見学会は評価するが、さらに市民への説明が必要ではないか。

A 今後、行政改革や財政負担の軽減の観点から、早急に検討していく。

Q 盛岡広域消防組合の負担金が多すぎる。八幡平消防署と松尾出張所の統合をどう考えているか。

A 27年度からは、件数が多い住宅の水洗化に特化して実施する。

Q 総体的な住宅リフォームに活用できるよう、助成事業を再検討すべきではないか。

一般会計の編成は

27年度
予算

いい国(192億) 八幡平(8,000万円)

— 前年度比3億6,100万円(1.8%)減 —

平成27年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)

一般会計		192億8,000万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	38億7,704万円	
	後期高齢者医療	2億5,728万円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	3億 184万円	
	公共下水道事業	5億3,558万円	
	農業集落排水事業	5億5,039万円	
	浄化槽事業	6,201万円	
事業会計	水道事業	収益的收入	6億1,794万円
		収益の支出	5億8,245万円
		資本的收入	2億 275万円
		資本の支出	4億1,104万円
	西根病院事業	収益的收入	8億 994万円
		収益の支出	8億5,611万円
		資本的收入	8,810万円
		資本の支出	8,848万円

平成27年度の予算は、3月10・12・13・16・17日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月20日本会議で全て原案のとおり可決され、27年度の税金の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や27年度の主な事業などを紹介します。



4月23日開催の実行委員会総会

希望郷いわて国体 八幡平市実行委員会補助金

【予算額】 4億2,500万円

【事業内容】 平成28年に開催される「希望郷いわて国体」の八幡平市実行委員会に対する補助金



にぎわい創出を図り、地域活性化

都市計画道路 大更駅前線整備事業

【予算額】 9億263万円

【事業内容】 大更駅前の沿道整備などのための事業認可申請や用地買収、移転補償、整地設計



水路などを共同で守る活動に支援

多面的機能支払交付金

【予算額】 3億5,293万円

【事業内容】 農地、水路、農道などの施設補修活動を行う活動組織に対して支払われる交付金



J A新いわて所有の施設を再編

米穀フレコン保管流通化 対策事業費補助金

【予算額】 5,000万円

【事業内容】 27年度以降作付面積増加が見込まれる飼料用米の受け付け可能数を強化するための施設整備費の補助金



総合運動公園は体育館南側に設置

防災用太陽光発電設備 整備事業

【予算額】 1億9,447万円

【事業内容】 市総合運動公園、松尾コミュニティセンター、安代診療所付近に10kW程度の太陽光パネルと蓄電池を設置



昨年11月3日の市民憲章推進大会

合併10周年記念事業

【予算額】 463万円

【事業内容】 合併10周年記念式典(11月3日開催予定)などにかかる経費

●会期 2月18日～3月20日(31日間)

3月定例会

医療費助成中学卒業まで 拡大を求める請願は採択



3月定例会最終日(3月20日)

今回は	
市長提出議案	31件
議員提出議案	1件
請願	4件

【議案第1号】 和解に関し議決を求める
ことについて

東京電力原発事故 損害賠償の和解

東京電力の原発事故による23・24年度の損害賠償請求のうち、52万円を和解しようとするものです。

【議案第2号】 綿帽子温泉館に係る指定
管理者の指定について

綿帽子温泉館は 3年間の指定管理

綿帽子温泉館を八幡平市産業振興(株)に管理させようとするものです(期間Ⅱ4月1日～平成30年3月31日)。



4月から安代老人憩の家の
機能も持つ綿帽子温泉館

【議案第3号】 八幡平市ラグビー場等に
係る指定管理者の指定について

新たに4体育施設 体協へ指定管理

八幡平市ラグビー場、鬼清水球技場、中山ラグビー場、中山野球場を八幡平市体育協会に管理させようとするものです(期間Ⅱ4月1日～平成29年3月31日)。

【議案第8号】 八幡平市土地開発基金条
例の一部を改正する条例

土地購入の資金 2億円に減額改定

土地開発基金の額を5億円から2億円にしようとするものです。

2億円という根拠は、1億
円でもよいのではないか。

今後の「大更駅周辺の賑わ
い創出施策」も含めて、2
億円は残しておくべきと考
える。

【議案第9号】 地方教育行政の組織及び
運営に関する法律の一部を改正する法律
の施行に伴う関係条例の整備に関する条
例

今後は教育長と 教育委員4人体制

教育委員の定数を4人とする
とともに、これまでの教育委員長と
教育長を一本化し、市長から任命
される新たな教育長(任期3年)が
設置されることに伴う整備をしよ
うとするものです。

【議案第11号】 八幡平市一般職の職員の
給与に関する条例及び八幡平市企業職員
の給与の種類及び基準に関する条例の一
部を改正する条例

職員給料引き下げ 平均5910円

国と県の例に準じ、一般職の給
与月額を平均1・79%引き下げな
どの改定をしようとするものです。
(3年間は現在の給与が保障)

【議案第12号】 平成26年度八幡平市一般
会計補正予算(第9号)

1億3831万円 減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億3831万円を減額するもので、主な歳出は次のとおりです。

- 生活習慣病予防検診業務委託料 1269万2千円(減額)
- 西根病院事業会計負担金 1億400万円
- 丑山牧野森林化業務委託料 25万6千円(減額)
- 除雪業務委託料 2750万円

生活習慣病予防検診業務委託料が減額となった要因は、当初予定の75%しか受診しなかったためである。

丑山牧野森林化業務委託料は、当初1080万円の予算で752万6千円も減額となるのは、計画自体が甘かったのではないか。

現地を確認したところ、草地の傾斜が急勾配で、機械が入れないため、最終的に取りやめたものである。

現地を確認したところ、草地の傾斜が急勾配で、機械が入れないため、最終的に取りやめたものである。

【請願第9号】 浅沢地域道路改良に関する
請願書 ※平成26年継続分

浅沢地域道路改良 請願は一部採択

市道浅沢線と県道二戸五日市線
を結ぶ農道と、浅沢コミュニティ
センター脇の農道の舗装改良を求
める内容です(請願者Ⅱ浅沢地域
振興協議会長・佐藤二郎)

産業建設常任委員会が審査

▼委員会の審査結果 一部採択す
べきもの(浅沢コミュニティセン
ター脇の農道は改良すべきである
が、市道浅沢線と県道二戸五日市
線を結ぶ農道は道路上に防火水槽
があり、改良して使用するには支
障がある)

▼本会議議決結果 一部採択

【請願第2号】 八幡平市の乳幼児、児童
医療費助成事業を中学校卒業まで拡大す
ることを求める請願書

医療費助成拡大を 求めて請願採択

現在、小学校卒業までとなつて
いる八幡平市の医療費無料化の対
象を中学校卒業まで拡大すること
を求める内容です(請願者Ⅱ西根
中学校PTA会長・佐藤進ほか市
内3中学校PTA会長)

教育民生常任委員会が審査

▼委員会の審査結果 採択すべき
もの(保護者の経済的負担の軽減
を図り、子育て支援の充実のため
にも医療費助成事業の拡大は必要
である)

▼本会議の議決結果 採択



昨年12月16日の現地調査でも道路
上に防火水槽があることを確認



医療費助成を中学卒業まで拡大し
人口減少対策を(松尾中卒業式)



(八起会) 高橋 守 議員

高橋議員 八幡平市として田山PA（パーキングエリア）へのスマートIC（インターチェンジ）設置の計画はあるのか。

市長 細野地域への設置検討と並行して、これまで県と合同で現地調査や意見交換を行ってきた。細野地域への設置は平成24年に断念したが、田山PAへの設置は、今後の設置検討へ向けての準備を行っており、27年度から内部検討を進めていきたい。

高橋議員 田山PAへのスマートIC設置に向けての問題点は何か。

市長 24時間通行可能で、大型特殊車両を含む全ての

車が通れるアクセス道路の整備が必要となるため、田山PAと国道282号を接続する道路の整備検討が大きな課題であると考えている。

ハチマンタイラーはすでに市民が公認？

高橋議員 岩鷲護神ハチマンタイラーを八幡平市公認ヒーローに認定して、商工会青年部の活動を応援してはどうか。

市長 ハチマンタイラーは、すでに市民の皆さんから公認されていると感じている。高橋議員 市で公認できないのであれば、活動費用の補助をして、市の行事などに多く利用できないか。

市長 今後、コスチュームのリニューアルなど特別な経費が生じる場合には、相談に応じていくつもりである。ハチマンタイラーは市の活性化を使命とし、各種イベントに駆けつけ、その場を盛り上げることが活動目的であり、市でも継続的に支援し、市の観光、物産振興に生かしたい。

ドライブレコーダー 公用車に設置しては

高橋議員 市の公用車にドライブレコーダーの設置を義務付けてはどうか。

市長 先行自治体の導入状況などを調査しながら検討していきたい。



スマートICの設置で利便性の向上が期待される田山PA

●他の質問事項 新庁舎へのアクセス道路、スキルアップ教育、バス代高騰について

田山PAにスマートIC 設置検討に向けて準備中

国の緊急経済対策 活用し増額補正

【議案第31号】 平成26年度八幡平市一般会計補正予算（第10号）

歳入、歳出それぞれ2億9275万4千円増額するもので、主な歳出は次のとおりです。

▼定住促進雇用対策事業 2079万5千円

▼畜産振興事業（畜産競争力強化対策緊急整備事業費補助金） 8293万6千円

▼商店街活性化推進事業（共通商品券特典事業費補助金） 7610万4千円

▼電気自動車急速充電器設置工事 3188万2千円

Q 電気自動車急速充電器の設置場所は。

A 道の駅にしねと松尾八幡平ビクターセンターに設置予定である。

Q 上乗せ率20%のプレミアム付き商品券の販売時期は。

A 4月23日発売開始で、3万2500セット発行する予定である。

平成27年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	議決結果
	工藤隆一	田村善男	畠山康	井上辰男	立花安文	大森力男	渡辺義光	工藤剛	遠藤公雄	古川津好	小野寺昭一	田村孝	山本榮	高橋守	高橋悦郎	関善次郎	大和田順一	高橋光幸	米田定男	北口和男	伊藤一彦	
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	原案可決
請願第5号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	不採択

※賛成＝○、反対＝● 工藤直道議長は採決に加わりません



(新政クラブ)
おおわ だ じゅんいち
大和田順一 議員

第2次総合計画の策定

人口減少対策に力注ぐ

大和田議員 地方版総合戦略策定と、新総合計画策定との整合性と進め方は。

市長 総合戦略で人口減少克服、地方創生を目指す施策と事業を先に定め、その後策定する市政運営の基本となる総合計画に反映させることで整合性は図られるものと考えている。

市長 県が「ふるさと名物商品券・旅行券」を発行するという情報があり、市独自の取り組みは予定していない。県の事業で市の産業に大きな効果が上がることを期待している。

幼児の医療費助成も現物給付化しようと考えている。

●他の質問事項 職員の表彰制度について

市長 次期総合計画で予定される施設整備を実施計画に盛り込むが、人口減による予算規模の縮小は避けられなく、必要性や費用対効果など十分検討したい。

市外客対象としたプレミアム商品券

大和田議員 交流人口増による市の産業振興のため、市外からのお客さまが市内施設で利用できる「市外客おせつたい商品券」を検討してはどうか。

大和田議員 県では、子どもや妊産婦の医療費助成を窓口負担のない現物給付方式を実施するが、市単独の助成分も導入の検討をすべきではないか。

市長 平成28年8月から県が現物給付化する方針に伴い、県基準での対象外で、市単独事業の対象となる乳

市長 平成28年8月から県が現物給付化する方針に伴い、県基準での対象外で、市単独事業の対象となる乳



新たな出発の思いの総合計画に
(2月3日・総合計画審議会)



(緑松会)
い とう かず ひこ
伊藤一彦 議員

伊藤議員 4人の部長職を定年延長する根拠となる法の解釈が合致するとは思えない。「公務の運営に著しい支障が生じるとき」とは具体的に何か。

市長 市総合計画など10件の計画や条例の制定があるほか、国体の準備など、これまでの経験を生かして市政に参画してもらいたい。

伊藤議員 2月16日の議員全員協議会の説明で、市長が全く知らないことであると話した後、副市長は決裁済みと説明した。どうして発言が食い違ったのか。

市長 私が本人から確認を取っていなかったため、知らないことと発言した。

関連質問

伊藤議員 市長は、議員全員協議会の開催に否定的な働き掛けを一部の議員にしたが、その趣旨は何か。

副市長 調査はしていない。

●他の質問事項 観光振興、漆工技術研究センターについて



マスコミにも大きく報じられた定年延長問題

定年延長は法に合致せず

計画など策定のため必要

(関連質問)



ふるかわ つ よし
古川津好 議員



(日本共産党)
まい た さだ お
米田定男 議員

定年延長強行は法に反す

27年度は特別な1年間に

延長を行わないのか。全く矛盾であり、平等取り扱いの原則に反することとなる。

●他の質問事項 産廃最終処分場問題、住宅リフォーム助成制度の継続について

米田議員 職員の定年延長の制度は、地方公務員法第28条の3「定年による退職の特例」で「退職により公務の運営に著しい支障が認められる十分な理由があるとき」を絶対的な条件にしている。特例の適用の判断は任命権者一人に委ねられているのではなく、高い客観性が求められているのは当然である。市当局が、今回の定年延長の特例の適用が法律に則しており妥当だと判断しているとすれば、具体的には現部長職4人が退職すれば、その後を担える職員が現状では存在しないと判断しているということではないか。

市長 27年度は、市総合計画基本構想や前期基本計画、実施計画など10件の計画や条例制定を予定しているほか、国体に向けたさまざまな準備もあり、現部長のこれまでの知識を生かし、参画してもらう予定である。
米田議員 27年度は、国体を含めて大きな仕事があるので、定年延長の措置をしたいという希望を述べているに過ぎず、定年延長の法的根拠にはならない。部長の後継者である課長級職員などは部長職を担える能力がなく、現部長と比較すれば著しく職務の能力が劣っていると判断しているのか。

副市長 課長などに能力がないと判断しているのではない。あくまで、27年度が特別な年になることを考慮して総合的に判断したものである。
米田議員 課長などに部長職を担える能力があると認めていることでこの議論は決着がついている。法律は、後継者が職務を担った場合に著しく公務に支障が出るのと判断される場合を唯一絶対の条件にしている。
市長 職員削減の中、危機的状況であり、部長にも頑張っていたら、27年度は乗りきっていくものである。
米田議員 では、なぜほかの3人の定年退職者は定年



26年度は定年退職者7人を含む14人が退職
(3月31日・退職者辞令交付式)

を与えるために畜産を管理できるヘルパーが重要ではないか。

●農政課長 現在8人いるが、必要に応じて人数を増やすことで対応したい。

企画総務部長 西根総合支所は防衛庁の補助で作ったもので、事務所としての利用だけで協議している。
平成28年完全国体リンドウでPR
関議員 国体では、本大会、冬季大会ともリンドウを使い、市をPRすべきである。
市長 冬季大会は開始式会場をチリ産のリンドウで、本大会の総合開会式会場にも市のリンドウを使うことで県と調整している。

取得組んでもらうため、地域振興協議会への交付金を増額する。
リンドウ栽培する若者たちの育成
関議員 リンドウ生産に携わる若い人たちが冬期間にでもチリやニュージーランドに視察研修させ、グローバル化に対応できる人材を育成してはどうか。
市長 1人50万円ほどかかるが、国に継続的な支援を要望していきたい。

関議員 新庁舎から発信する市長の抱負は。
市長 新庁舎は、市民の一体感の醸成を図り、市の発展のための拠点と位置付けている。多目的ホールを新たなまちづくりのシンボルとし、市民と行政のコミュニケーションの場となることを期待している。
関議員 西根と安代庁舎の空き室利用計画は。
市長 西根は経済団体に活用を打診している。安代は社会福祉協議会安代支所の移転を協議している。

関議員 国体による波及効果を上げるため、行政からの支援が必要ではないか。
市長 27年度は各地域で国体開催の機運醸成と啓発に

畜産を管理できるヘルパーが必要
関議員 畜産振興の発展には、飼育している人に休日



新庁舎から花輪線利用促進を発信
(3月14日・JR花輪線北森駅自由通路落成式)

新庁舎からの新たな発信

市民と行政がより密接に



(自由クラブ)
せき ぜん じ ろう
関善次郎 議員



おおもりりき お
大森力男 議員
(新政クラブ)

大森議員 地方創生法では、「地方版総合戦略」の策定を努力義務としている。八幡平市はどのように取り組んでいくか。

市長 国の総合戦略などを考え合わせ、人口減少対策事業や定住化促進を盛り込み、27年度中に策定する。

市長公室長 3月1日に市まち・ひと・しごと総合戦略推進本部を設置した。

大森議員 国で予算化した交付金の活用方法は。

市長 地方創生型は人口ビジョンや総合戦略の策定、観光振興事業、企業化支援事業に充てたい。

八幡平市流の地方創生策

20%のプレミアム商品券

市長公室長 地域消費喚起生活支援型を活用し、1枚千円の商品券12枚のセットを1万円で販売するプレミアム付き商品券を発行する。

ふるさと納税制度

大森議員 国は手続きの簡素化で、ふるさと納税制度の普及や拡大を進めていくが、今後の市の取り組みは。

市長 地元特産品の贈呈は、PR活動の良い機会で、魅力を感じている。還元率を争うような贈答品競争ではなく、寄付したいと考える人の気持ちをくすぐるような工夫を検討していきたい。



若者定住を目的に建設された
安代若者センター

米価下落の対応策

大森議員 県は、あきたこまちに代わる主食用米「岩手107号」を奨励品種に決定したが、市の対応は。

市長 栽培適地が盛岡周辺であり、当面は作付けや販売状況を見ながら検討する。



きたぐちかず お
北口和男 議員
(無会派)

北口議員 八幡平市の再生可能エネルギー発電の東北電力への送電線接続の現状と、時期はいつごろか。

市長 松尾八幡平地域で地熱発電の調査をしている岩手地熱(株)からは、送電設備関係の工事契約を東北電力と締結したと聞いている。

発電を開始した場合は、送電は可能となる。

地域振興課長 平成29年に発電開始を進めている。

北口議員 地熱発電では冷却用の水が重要となる。水の採取方法はどうなっているか。

市長 発電量で水の使用量は左右されるが、発電所予定地の近くにある沢の水が利用できる状況である。

送電線接続現状と時期

工事契約結びH29年に



平成29年の発電開始に向けて

地域防災計画と対応マニュアル

北口議員 地域防災計画と防災対応マニュアルの進捗状況は。

市長 地域防災計画は、県の防災計画の改正点を反映し、2月の防災会議で改定した。計画を基に、現実的で実践的な行動マニュアルの整備を図っていきたい。

北口議員 防災行政無線の実施マニュアルをつくるべきではないか。

市長 今後、防災無線のデジタル化に向け、災害の種類ごとにサイレンの音を変えて放送するなど、市民にわかりやすく伝えるよう検討していきたい。

●他の質問事項 行政事務の効率化について



たむらよし お
田村善男 議員
(八起会)

田村議員 人口減少が進み、老朽化で倒壊のおそれや景観上の問題などが社会問題化する中、管理不十分なまま放置された空き家の解消に向けた対策を急ぐ必要があるのではないか。

市長 市は昨年8月に地域の空き家の実態を把握する

ため、行政区や自治会、町内会単位に管理がされていない空き家の数と状態についてアンケート調査を実施した。市内の空き家である住家596棟、倉庫88棟のうち、管理されていない空き家は住家167棟、倉庫32棟となっている。今後は、

増え続ける空き家対策

所有者の特定を進める



道路沿いの危険な空き家

空き家の所在と状態の実態把握、所有者などの特定を行うことなど、総合的に行うことが重要である。

教委制度の改革は責任体制の明確化

田村議員 現行の教育委員会制度には、さまざまな課題があるとの指摘がある。今回の制度改革の趣旨をどのように捉えているのか。

教育長 今回の改正は、首長が直接教育長を任命することの任命責任と教育行政の第一義的な責任者が明確化することや、常勤の教育長が教育委員会の会議の招

集のタイミングを適切に判断し、早急に対応することができたり、首長と教育委員会が教育行政の方向性を共有し、一致して執行に当たったりすることが可能となり、地方公共団体としての教育政策に関する方向性が明確になるものである。



たちばなやすふみ
立花安文 議員
(八起会)

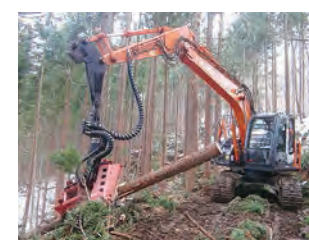
立花議員 若手林業者育成に取り組むべきではないか。
市長 林業関係者から意見を聞き、次期総合計画で検討したい。

業員不足が懸念されることから、新たな支援策を考えながら、若手林業者の育成を図りたい。
立花議員 市民文化会館整備は木造建築で計画してもらいたい。
市長 現時点では建設への具体的な構想はない。検討

した結果、建設が決まった場合には、木造建築を選択肢の一つとして考える。
スキー国体後の全国大会開催計画
立花議員 スキー国体後の全国規模の大会開催計画は、
市長 平成29年の全日本マ

スターズスキー選手権大会、32年度以降の全国中学校スキー大会の拠点開催地で誘致したいと思っている。
立花議員 拠点開催とはどういうことか。
スポーツ推進課長 5年から10年間連続して大会を誘致(開催)するものである。

安代林業センター
民間へ施設譲渡
立花議員 林業センターの民間譲渡は検討しているか。
市長 直ちに譲渡するのは現実的ではないが、時間を要しながら進めなければならないと考えている。



高性能林業機械による伐採現場



やまもと さかえ
山本 榮 議員
(日本共産党)

山本議員 八幡平市の保育所待機児童の状況は。
市長 27年度は、4月初時点ですべての待機児童が出る見込みである。

期に解消するため、計画を見直す必要がある。
市長 改修で対応可能な部分は全て実施した。当面受け入れの弾力化を図る。
地域福祉課長 3年後の杉の子保育園の改修を待ち、解消のためにできる限り事業者への打診をしたい。

パークゴルフ場設置
山本議員 田山スキー場競技センター前に18ホールの市営のパークゴルフ場設置が必要である。
市長 パークゴルフ場として利用するためには、毎年補修整備を行う必要がある、

設置場所としては適さない。既存施設の有効的な活用と、田山スキー場にこだわらない場所を模索していただきたい。
ゲートボール場設置
山本議員 市ゲートボール協会が陳情した綿帽子温泉

館の脇に市営のゲートボール場設置が必要である。
副市長 施設協はかなりの面積の市有地がある。ゲートボール場の活用には差し支えないのであれば、庁内で調整をしたい。ゲートボール協会でも設計や整地など議論いただきたい。



安心して子育てできる環境整備を

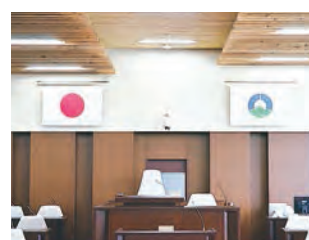


わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

渡辺議員 昨年12月、新しい議場に国旗と市旗が掲揚された。国旗・市旗などの掲揚推進や啓発活動が必要と考える。
市長 国旗・市旗を尊重し、市政を推進する。ミニ国体旗などは、県と連携し市民運動として取り組む。

教育長 学習指導要領に沿って、各小中学校で国旗や国歌の指導を行っている。
市民参画の総合計画
渡辺議員 次期市総合計画に12コミセンの地域計画を反映させ、まちづくり意見を取り入れるべきである。

国旗・市旗の尊重と敬愛 正しい掲揚啓発に努める



国旗・市旗を掲揚した市議会議場

市長 各地域振興協議会が策定した地域計画は、関係部署で共有し、参考としている。
渡辺議員 小中高生や若い女性などの意見をどのように反映する考えか。
市長 市長講話など機会を捉えて、子どもたちに市の

状況などを伝えていきたい。各種審議会委員の公募などで、若い女性たちの意見を聞く機会を作り、女性の積極的参加を促したい。
図書館サービス向上
渡辺議員 市立図書館は手狭である。西根地区市民セ

ンターを図書館別室として有効活用してはどうか。
教育長 26年度は952冊の図書を廃棄処分した。次期総合計画の中で保存庫などの確保を検討したい。
教育次長 西根地区市民センターの活用は市長部局とも協議しながら検討したい。



いのうえ たつお
井上辰男 議員
(八代会)

井上議員 県の産業廃棄物最終処分場の最終候補地は、どのような過程で八幡平市に選定されたのか。

市長 住民説明会での意見や整備の確実性など、総合的に判断した結果、各候補地の中で最も優位性が高いとの判断で選定された。

井上議員 地元雇用や経済効果は、どの程度期待できるのか。

市長 雇用は10人を超えると聞いている。また、法人市民税と固定資産税で年間約2千万円の実績があり、相当の税収が見込まれると考えている。

井上議員 いわてグリーンセンターの見学では、地域住民からの声を聞く機会があるのか。

市長 実際の市民の声を聞けるように進めていく。

井上議員 花輪線の駅設置

市長 輪線平館駅と大更駅の間に新駅設置の要望がある。実現性はあるか。

市長 経費は自治体の負担となり、内容などを厳しく精査しなければならない。

井上議員 財源や利用状況などの問題はありますが、新駅により通学の利便性や地域

の活性化が期待できると思うが可能性はどうか。

市長 地域住民の考えも総合的に検討しながら、可能性をトライできればと考えている。

●他の質問事項 西根庁舎の活用、危機管理について



いわてグリーンセンターの埋立地



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

高橋議員 八幡平市の人口は合併後10年余りで3495人減少している。過去に例がない危機的状況だといえるが、この状況についての見解は。

市長 年間に亡くなる人が400人を超えるのに対して、生まれてくる子どもが

150人前後で、約250人の自然減となっている。さらに、転出が転入を上回る社会減も続いている。23年度に策定した市総合計画後期基本計画では、「定住化の促進」「第1次産業の生産力向上」「大更駅周辺の賑わい創出」「合宿の里づくり」

「滞在型観光推進」の五つの重点施策で人口減少対策を進めてきたが、八幡平市を含めた県北地域での人口減少は著しいものがある。

高橋議員 人口減少は市の直面する最大の課題となっている。対策として国が進める人口ビジョンと総合戦

略の策定に取り組むことになるが具体策は。

市長 国は総合戦略の策定に当たり、①5年間で地方に若者の雇用を30万人増やす②東京圏への流入人口を5年間で10万人減らす③若い世代の結婚や出産、子育ての希望をかなえる④時代

に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する一四つの基本目標を示している。27年度内に市の総合戦略を策定するが、議会からも具体的な提言をいただきたい。何とか人口減少に歯どめをかけたい。



人口減少対策に歯どめを
(3月18日・大更小学校卒業式)



おの でら しょういち
小野寺昭一 議員
(八代会)

小野寺議員 八幡平市の障害者数の現状と、障害者の居住支援をどのように進めるか。

市長 平成26年3月末現在、身体障害者手帳の所持者は1409人となっている。居住系サービスのグループホームは現在、市内で11カ

所・定員61人で、利用環境が整ってきていると認識しているが、27年度末にはさらに設置予定と聞いている。今後民間事業所の積極的な参入を促すとともに、既存の障害福祉サービス事業所と連携しながら支援の充実を図りたい。

小野寺議員 安代地区には居住系サービスと日中活動系のサービスの施設がない。設置すべきではないか。

市長 現在、安代地区から他の地区に通い、サービスを利用している人は7人いる。八幡平市障害者自立支援協議会で議論したい。

積立基金運用方法

小野寺議員 基金のうち、積立基金の額は年々増加している。運用方法はどのようなになっているか。

市長 財政調整基金を年度間の財源調整と普通交付税の縮減に対応するため、計



共生型グループホーム白山の里

安代地区に生活支援事業 市自立支援協議会で議論

議会改革特別委員会

■期日・場所 2月2日・久慈市
■内容 議会基本条例に関する先進事例調査



久慈市議会（2月2日）

"じえじえじえ"な議会目指し条例策定

久慈市議会は、議会改革の一環で、平成26年3月に議会基本条例（通称「じえじえじえ基本条例」）を制定しました。この条例は、①条例前文を方言化②議会活動を検証する③市民と議会が協働する場「かだって会議」の設置④ICTの積極的活用⑤委員会の委員長志願者の所信表明機会を設定⑥他議会との積極的交流—の六つが特徴。条例の実効性を高め、"じえじえじえ"な議会を目指しています。

次は 6 月定例会（予定）

期 日	内 容
6月12日(金)	議案上程 ほか
6月13日(土)・14日(日)	休 会
6月15日(月)	一般質問
6月16日(火)～21日(日)	休 会
6月22日(月)	一般質問
6月23日(火)	一般質問
6月24日(水)	議案審議
6月25日(木)	休 会
6月26日(金)	委員長報告 ほか

※午前10時開会(変更の場合があります)

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください（受付で住所や氏名を記入する必要はありません）。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、会派代表質問と一般質問の様子はインターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

27年度の
地域おこし協力隊は
全部で○人任用

- 応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、議会だよりを読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券を1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- しめ切り 平成27年6月22日(月)(当日消印有効)
- 前回(No38)の正解≫ ラグビー
応募者 39人 正解者 31人

議会の動き

(2月2日～4月30日)

2月

- ▶2日 議会改革特別委員会 所管事務調査(～3日)
- ▶6日 議会改革特別委員会
- ▶9日 会派代表者会議
- ▶12日 議会運営委員会
- ▶16日 会派代表者会議、議員全員協議会、議会運営委員会

- ▶18日 平成27年第1回定例会(～3月20日)、教育民生常任委員会協議会、議員全員協議会、議会広報常任委員会
- ▶20日 議会運営委員会
- ▶23日 議会広報常任委員会
- ▶24日 議会改革特別委員会
- ▶25日 日本共産党派研修

3月

- ▶2日 議会運営委員会
- ▶4日 議会運営委員会、議会広報常任委員会
- ▶5日 議会運営委員会
- ▶9日 議会運営委員会
- ▶10日 議会広報常任委員会、予算特別委員会、議員全員協議会、議会運営委員会

- ▶11日 教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶12日 予算特別委員会、議会運営委員会
- ▶13日 予算特別委員会、議会運営委員会
- ▶16日 予算特別委員会、議会広報常任委員会
- ▶17日 予算特別委員会
- ▶20日 議会運営委員会
- ▶24日 議会運営委員会
- ▶25日 緑松会・自由クラブ会派合同研修(～27日)、八起会会派研修(～26日)

- ▶26日 工藤直道議長研修

4月

- ▶2日 議会広報常任委員会
- ▶9日 議会改革特別委員会
- ▶23日 議会改革特別委員会
- ▶28日 議会広報常任委員会
- ▶30日 議会改革特別委員会

はちまんたい議会だよりは、今号から「ギカイのひろば」としてリニューアルしました。今後も議会の活動をわかりやすく伝え、市民の皆さんに親しまれる議会だよりを目指していきます。

議会広報常任委員会
委員長 高橋 悦郎



くどう つよし
工藤 剛 議員
(新政クラブ)

工藤議員 多くの高齢者に元気でいてもらうための施策は。

市長 健康教室や健康状態アンケート、ふれあいいきいきサロン、認知症に対する普及啓発活動を通して介護予防推進事業を実施している。今後は、老人クラブ

活動などによる生きがいづくりと、特定健診や長寿健診による健康づくりを推進していく。

工藤議員 例えば健康増進に努力した人や健康改善をした人にポイントを与え、市内の施設を利用できるような制度を作り、健康に對

する意欲を高めてもらうというのはいかがでしょうか。

健康福祉課長 検討の余地はあると思う。

公共工事の落札率

工藤議員 26年度の公共工事の落札率と市長の見解は。

市長 2月23日現在、11

3件入札し、平均落札率は96・32%である。現在は積算能力があれば予定価格に近い額が出せるので、おかしい数字ではない。

小中学校連携教育

工藤議員 小中連携教育の実績と評価は。

●他の質問事項 人口減少対策について

教育長 9年間の継続的な取り組みにより、授業改善や指導の一貫性が図られ、学力向上だけでなく総合生活力や人生設計力を育成する基盤にもなっている。



高齢者の元気が八幡平市の活力に



議会のまど

せきもとけんこ
関本研子 さん
(兄畑)小さな地域活動から
大きな福祉への期待

簡易郵便局の仕事に携わりながら、仲間たちと「自分ができることで、得意な分野からお互い助け合っていこう」と話をして、楽しみながら、少しでも地域に貢献するため、兄畑駅のトイレ清掃や花壇作りを始めました。地域のために、誰かのために一。それが小さな福祉の始まりだと思います。

しかし、私たち市民ができる範囲には限界があります。私も含め地域全体が高齢者という時代が今、すぐ目の前に来ようとしています。一日でも早く、全ての市民に公平で充実した福祉を期待しています。

ふ

るさと納税の寄付による特産品の贈呈を検討してはどうでしょうか。市をPRするチャンスだと思っています。(松尾寄木・25歳男性)

国

体や観光客誘致のためにもホテルや観光施設などでの無料のWiFi化を急ぐべきだと思います。(松尾寄木・39歳男性)

議

会のまどの八幡平トラウトガーデンを有効活用する意見は良いと思います。(松尾寄木・66歳男性)

子

どもを育てる良い場所、子どもが働いて住めるような八幡平市になればと思います。(帷子・39歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

温

泉地を活性化させるために、温泉行きの専用バスを増やしてほしいです。(大更・73歳女性)

子

どもたちにこそ、インフルエンザ予防接種の無料化を検討してほしいです。(柏台・38歳女性)

議

会だよりが、市民に親しまれるためには工夫が必要だと思います。(吹田・67歳女性)

議

会映像の公開が始まり、映像を通して、議員が私たちの声をどのように議会で議論しているか関心を持つことが大切だと思います。(松尾寄木・62歳女性)

今回の表紙

平舘高校
相撲部平成27年第1回定例会
傍聴者数

89人

3 月14・15日に高知県で開かれた全国高校相撲選抜大会団体で5位入賞した平舘高校相撲部。16年ぶりの入賞にも「もっと上位にいけない」と悔しさをにじませた高橋和優主将(3年・松尾中卒、写真後列中央)は「今年のインターハイは団体でベスト4以上の成績を残して、来年の地元会場の国体に弾みをつけたい」と活躍を誓った。